



JFE 大型籠柵



『JFE大型籠枠』は、従来の「簡易鋼製ふとん籠」の組立が容易という特長を活かしつつ剛性を高めました。
その構造はユニット形式とし、施工に当たっての自由度が高く、用途が多彩です。

◆組立が簡単で、工期が短縮できます。

山形鋼と丸棒を組合せたパネル“L形”と“I形”をコイル筋で一体化し、ボルト接合によりスムーズな組立を可能にしました。部材は規格化され軽量なので、運搬がしやすく施工が容易です。また、申詰めは機械施工が可能で工期が短縮できます。

◆用途が多彩です。

従来の籠枠の剛性を高めたもので、より広範囲な用途にご使用できます。土留め擁壁だけでなく谷止め工やその他治山・砂防にもご利用できます。

◆透水性に優れています。

中詰材として、割栗石を使用していますので、透水性に優れており、湧水の多い場所に設置でき、のり面の安定に効果的です。





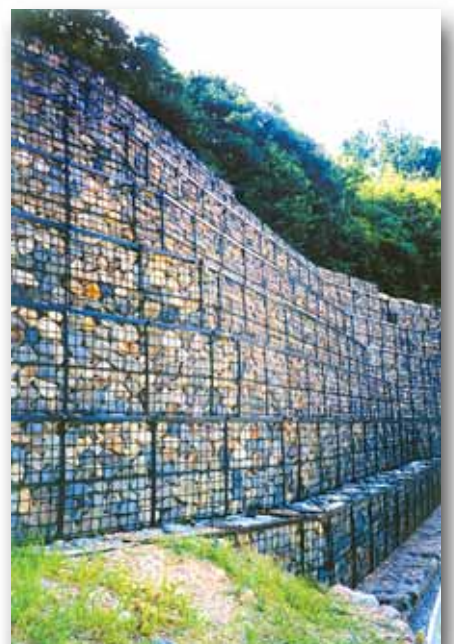
◆用途◆

土留擁壁

小規模な谷止工

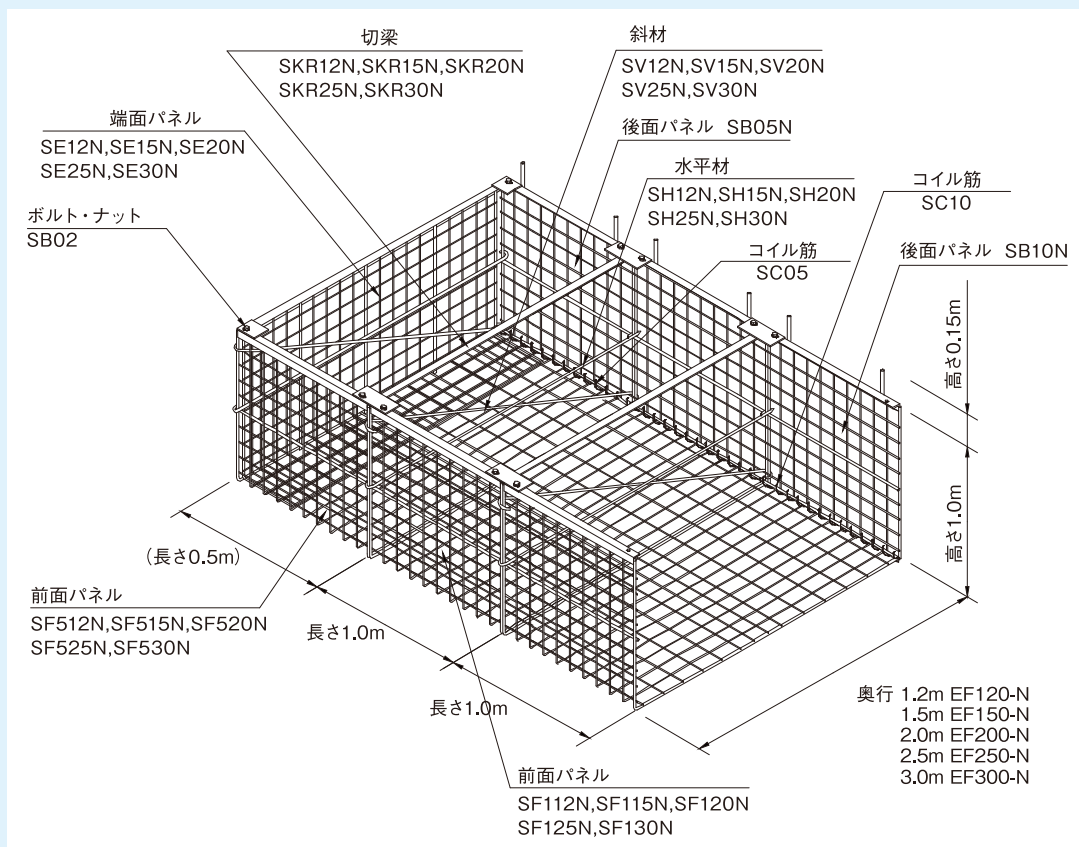
山腹土留工

流路工



部材図 仕様

●組立図●



注) () は長さ方向500タイプを示します。

●部材規格●

部 材	規 格
前面パネル	JIS G 3532「鉄線」
後面パネル	JIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」(SS400)
端面パネル	JIS G 3112「鉄筋コンクリート用棒鋼」(SR235)
切 梁	JIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」(SS400)
水 平 材	JIS G 3112「鉄筋コンクリート用棒鋼」(SR235)または
斜 材	JIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」(SS400)
コ イ ル 筋	JIS G 3532「鉄線」
ボルト・ナット	JIS B 1180「六角ボルト」、JIS B 1181「六角ナット」および JIS B 1256「平座金」

●表面処理●

塗 装 品	黒色塗装 ただし、ボルト、ナット及び座金は、JIS H 8641「溶融亜鉛めっき」の2種 (HDZ35)
め っ き 品	JIS H 8641「溶融亜鉛めっき」の2種 (HDZ55) ただし、ボルト、ナット及び座金は、JIS H 8641「溶融亜鉛めっき」の2種 (HDZ35)、 コイル筋は、亜鉛-アルミニウム10%合金めっき (付着量300g/m ² 以上)

●部材リスト●

EF120-N (奥行き1.2m、高さ1.0m、長さ1.0m、0.5m)

部材名		品番	寸法 (mm)	単重 (kg)
本 体	前面パネル	SF112N	1000×1204×1000	21.52
		SF512N	500×1204×1000	13.83
	後面パネル	SB10N	1000×984	14.23
		SB05N	500×984	8.74
端面パネル	SE12N	1200×403×1011	17.62	
付 属 部 品	切 梁	SKR12N	1200	6.82
	水 平 材	SH12N	φ13×1245	1.47
	斜 材	SV12N	φ13×1515	1.75
	ボルト・ナット	SB02	M16×40	0.157
	コイル筋	SC05	φ5×50×500	0.16
		SC10	φ5×50×1000	0.31
	仮 止 材	SK12	φ9×1228	—
ふ た	ふたパネル	FU112N	1100×980	7.64
		FU512N	1100×480	4.81
	連 結 材	SU02	M8	0.144

※前面パネルと後面パネルはコイル筋で連結した状態で納入します。

EF150-N (奥行き1.5m、高さ1.0m、長さ1.0m、0.5m)

部材名		品番	寸法 (mm)	単重 (kg)
本 体	前面パネル	SF115N	1000×1504×1000	23.51
		SF515N	500×1504×1000	15.26
	後面パネル	SB10N	1000×984	14.23
		SB05N	500×984	8.74
端面パネル	SE15N	1500×403×1011	21.95	
付 属 部 品	切 梁	SKR15N	1500	8.15
	水 平 材	SH15N	φ13×1545	1.78
	斜 材	SV15N	φ13×1765	2.01
	ボルト・ナット	SB02	M16×40	0.157
	コイル筋	SC05	φ5×50×500	0.16
		SC10	φ5×50×1000	0.31
	仮 止 材	SK15	φ9×1528	—
ふ た	ふたパネル	FU115N	1400×980	9.52
		FU515N	1400×480	6.03
	連 結 材	SU02	M8	0.144

※前面パネルと後面パネルはコイル筋で連結した状態で納入します。

EF200-N (奥行き2.0m、高さ1.0m、長さ1.0m、0.5m)

部材名		品番	寸法 (mm)	単重 (kg)
本 体	前面パネル	SF120N	1000×2004×1000	26.98
		SF520N	500×2004×1000	17.73
	後面パネル	SB10N	1000×984	14.23
		SB05N	500×984	8.74
端面パネル	SE20N	2000×403×1011	28.35	
付 属 部 品	切 梁	SKR20N	2000	10.36
	水 平 材	SH20N	φ13×2045	2.30
	斜 材	SV20N	φ13×2215	2.48
	ボルト・ナット	SB02	M16×40	0.157
	コイル筋	SC05	φ5×50×500	0.16
		SC10	φ5×50×1000	0.31
	仮 止 材	SK20	φ9×2028	—
ふ た	ふたパネル	FU120N	1900×980	12.65
		FU520N	1900×480	8.05
	連 結 材	SU02	M8	0.144

※前面パネルと後面パネルはコイル筋で連結した状態で納入します。

EF250-N (奥行2.5m、高さ1.0m、長さ1.0m、0.5m)

部材名		品番	寸法 (mm)	単重 (kg)
本 体	前面パネル	SF125N	1000×2504×1000	30.22
		SF525N	500×2504×1000	20.09
	後面パネル	SB10N	1000×984	14.23
		SB05N	500×984	8.74
端面パネル	SE25N	2500×403×1011	34.74	
付 属 部 品	切 梁	SKR25N	2500	12.58
	水 平 材	SH25N	φ13×2545	2.82
	斜 材	SV25N	φ13×2680	2.96
	ボルト・ナット	SB02	M16×40	0.157
	コイル筋	SC05	φ5×50×500	0.16
		SC10	φ5×50×1000	0.31
仮 止 材	SK25	φ9×2528	---	
ふ た	ふたパネル	FU125N	2400×980	15.78
		FU525N	2400×480	10.07
	連 結 材	SU02	M8	0.144

※前面パネルと後面パネルはコイル筋で連結した状態で納入します。

EF300-N (奥行3.0m、高さ1.0m、長さ1.0m、0.5m)

部材名		品番	寸法 (mm)	単重 (kg)
本 体	前面パネル	SF130N	1000×3004×1000	33.91
		SF530N	500×3004×1000	22.67
	後面パネル	SB10N	1000×984	14.23
		SB05N	500×984	8.74
端面パネル	SE30N	3000×403×1011	41.13	
付 属 部 品	切 梁	SKR30N	3000	14.79
	水 平 材	SH30N	φ13×3045	3.34
	斜 材	SV30N	φ13×3160	3.46
	ボルト・ナット	SB02	M16×40	0.157
	コイル筋	SC05	φ5×50×500	0.16
		SC10	φ5×50×1000	0.31
仮 止 材	SK30	φ9×3028	---	
ふ た	ふたパネル	FU130N	2900×980	18.91
		FU530N	2900×480	12.08
	連 結 材	SU02	M8	0.144

※前面パネルと後面パネルはコイル筋で連結した状態で納入します。

● 歩掛り (標準参考値) ●

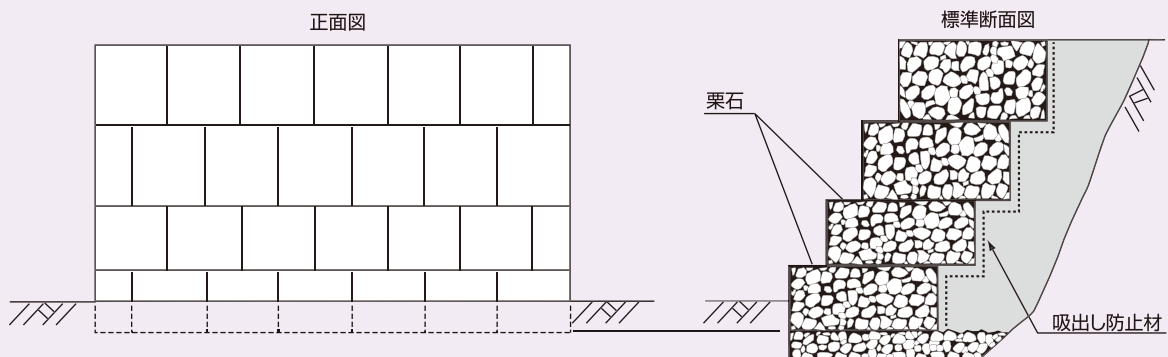
工 種		サイズ	単 位	EF120-N	EF150-N	EF200-N	EF250-N	EF300-N
組 立	普 通 作 業 員	人 工	人工/m ²	0.08	0.09	0.10	0.11	0.12
			人工/m ²	0.30	0.45	0.60	0.75	0.90
バックホウ使用 による石詰め	普 通 作 業 員	人 工	人工/m ²	0.12	0.15	0.20	0.25	0.30
			時間/m ²	0.36	0.45	0.60	0.75	0.90
			時間/m ²	0.24	0.30	0.40	0.50	0.60
ふ た	普 通 作 業 員	人 工	人工/m ²	0.06	0.07	0.08	0.09	0.10

注)

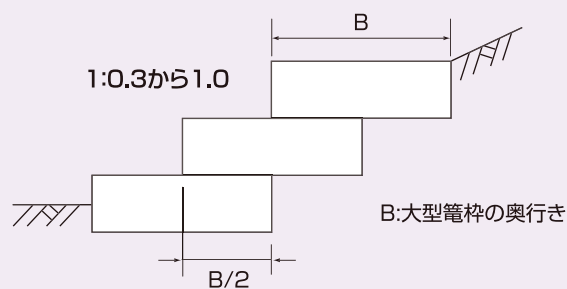
- 1.本歩掛りは床掘り、切土、及び小運搬等は含みません。
- 2.数値は正面投影面積当りです。

●計画上の留意点●

1. 大型籠枠は千鳥積みを標準とします。

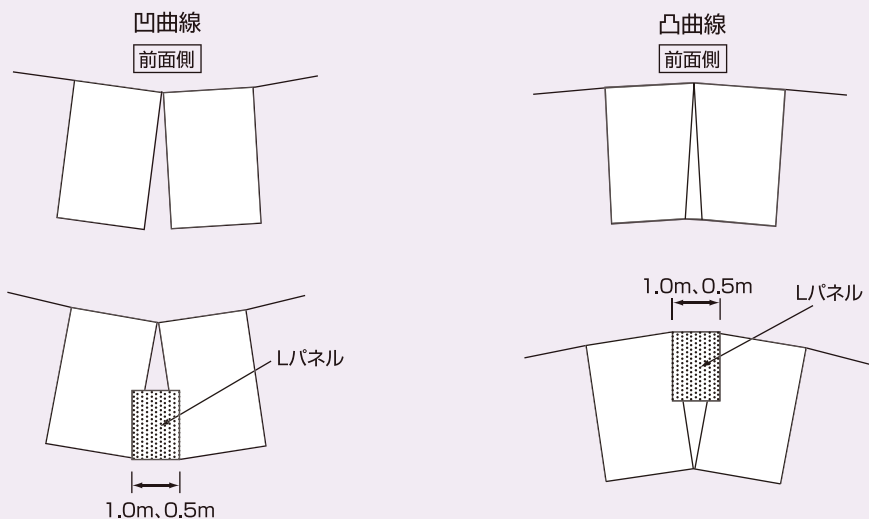


2. 詰重ねの勾配は3分～1割を標準とします。奥行き(B)の半分以上(B/2)は上段の大型籠枠を重ねて下さい。



●使用上の留意点●

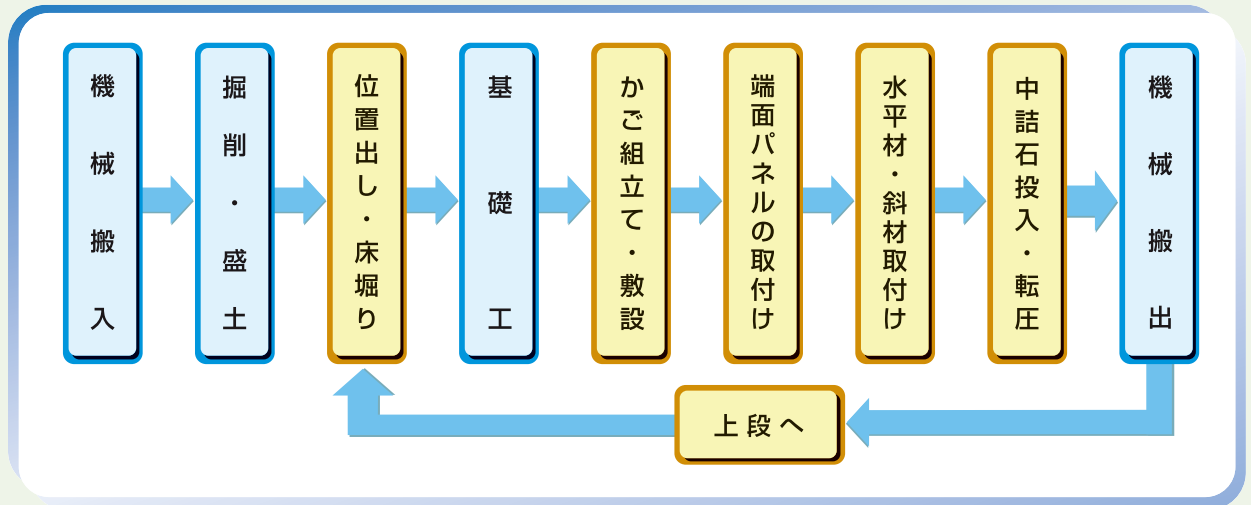
1. 基礎部は安定した支持層上に設置して下さい。
2. 中詰石には15cm～20cm以上の割栗石または岩砕を使用して下さい。
3. 大型籠枠に中詰め投入後、背面土を埋立て十分転圧して下さい。なお、背面土は透水性の良い砕石等を使用して下さい。
4. 曲線部の組立は前面パネルを支点として設置します。凹曲線は背面パネル側が開き、凸曲線は後面パネル側が重なるため、後面パネルを孔明・切断加工等をして組立てます。また、Lパネルを使用すれば容易に組立が出来ます(但し、曲がりの大きさが一定となります)。



施工 組立手順

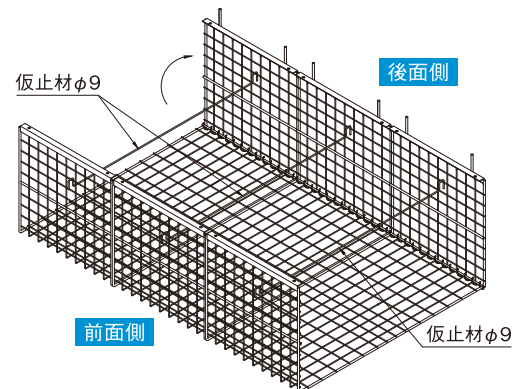
●施工手順●

大型籠枠の施工フローは、次を標準とします。

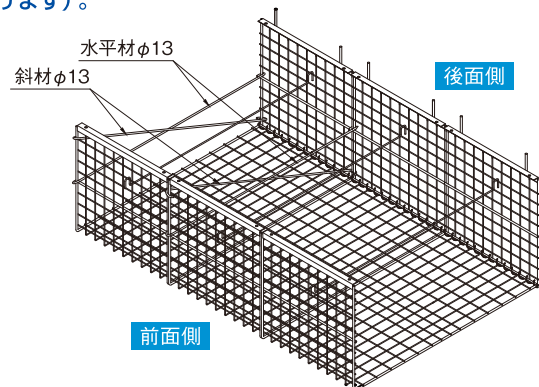


●組立手順●

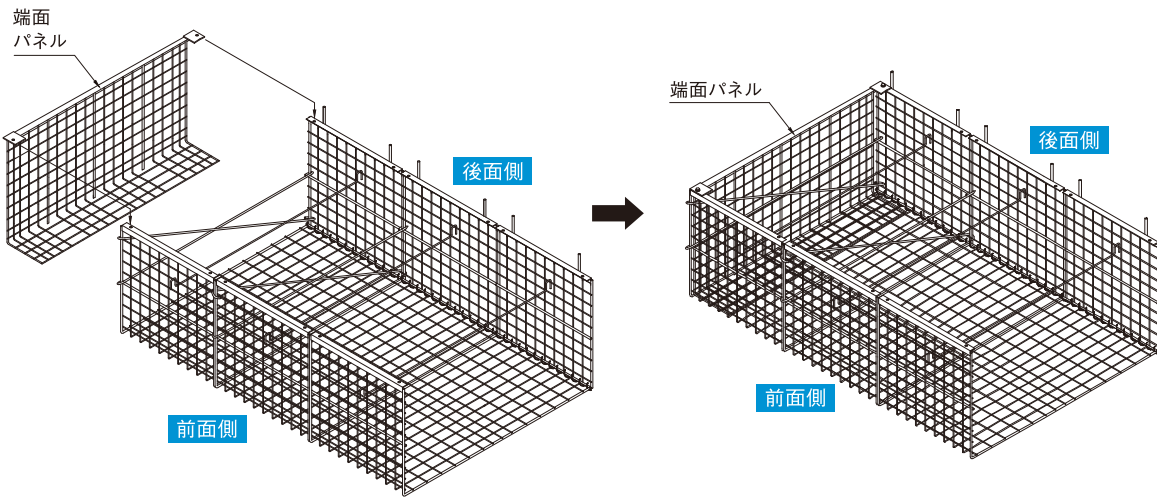
1. 本体を設置後、後面パネルを起こし金網の上部に仮止材をかけます。



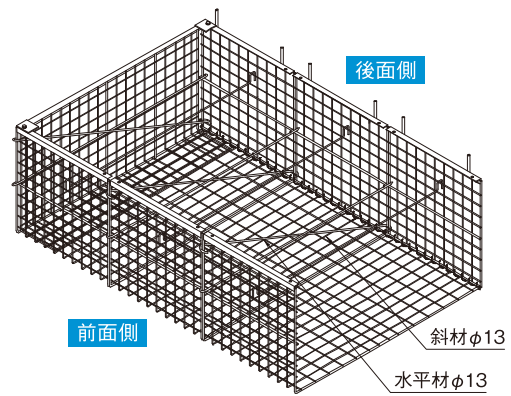
2. 端面パネルを取付ける前に、水平材、斜材を図のように取付けます。(端部は水平材よりも斜材のほうを内側に取付けます)。



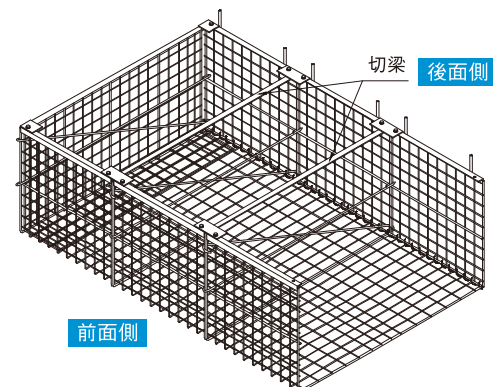
3.端面パネルを前面パネル、後面パネルにボルトにて取付ます。



4.斜材を隣接する前面側と後面側のφ16mm2本に
前面側を上、後面側を下に掛けます。
次に、水平材を隣接する前面側と
後面側のφ16mm2本に掛けます。



5.切梁を前面パネル、後面パネルにボルトにて取付けます。
その後、仮止材を取り外し、次の組立に使用します。



高知県



鹿児島県



長野県



徳島県



山口県



—より安全な御使用を願って—

本カタログに掲載されている内容は情報提供を目的としたもので、誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますのでご了承下さい。また、掲載される情報・仕様等につきましては予告なしで変更する場合があります。最新情報につきましては、各担当部署にお問合わせ下さい。

JFE 大型籠枠

JFE 建材 株式会社 <http://www.jfe-kenzai.co.jp/>

本 社 〒108-0075 東京都港区港南 1-2-70 (品川シーズンテラス)

防 災 商 品 営 業 部 〒108-0075 東京都港区港南 1-2-70 (品川シーズンテラス) TEL. 03 (5715) 7640 FAX. 03 (5715) 1035

北海道支店 〒060-0806 札幌市北区北 6 条西 1-4-2 (ファーストプラザビル) TEL. 011 (708) 6411 FAX. 011 (728) 4675

東北支店 〒980-0811 仙台市青葉区一番町 4-1-25 (東二番丁スクエア) TEL. 022 (266) 3070 FAX. 022 (223) 3060

新潟支店 〒950-0087 新潟市中央区東大通 1-2-23 (北陸ビル) TEL. 025 (246) 3233 FAX. 025 (246) 3255

名古屋支店 〒460-0003 名古屋市中区錦 1-7-19 (名古屋岡本ビル) TEL. 052 (204) 5707 FAX. 052 (204) 1611

北陸支店 〒930-0004 富山市桜橋通り 2-25 (第一生命ビル) TEL. 076 (441) 1462 FAX. 076 (432) 2384

大阪支店 〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1-9-1 (肥後橋センタービル) TEL. 06 (6444) 7631 FAX. 06 (6444) 7633

中国支店 〒730-0036 広島市中区袋町 4-21 (広島フコク生命ビル) TEL. 082 (248) 7303 FAX. 082 (248) 3141

四国支店 〒760-0023 高松市寿町 1-3-2 (高松第一生命ビル) TEL. 087 (821) 5548 FAX. 087 (821) 5540

九州支店 〒812-0025 福岡市博多区店屋町 1-35 (博多三井ビルディング 2 号館) TEL. 092 (263) 1561 FAX. 092 (263) 1475

北東北営業所 〒020-0034 盛岡市盛岡駅前通 15-19 (盛岡フコク生命ビル) TEL. 019 (629) 2250 FAX. 019 (651) 8780

長野営業所 〒380-0901 長野市居町 5 (勝山ビル) TEL. 026 (259) 3739 FAX. 026 (244) 2586

静岡営業所 〒420-0851 静岡市葵区黒金町 11-7 (三井生命静岡駅前ビル) TEL. 054 (653) 6511 FAX. 054 (273) 3701

鹿児島営業所 〒892-0847 鹿児島市西千石町 1-32 (鹿児島西千石町ビル) TEL. 099 (222) 1225 FAX. 099 (222) 1257

沖縄営業所 〒900-0015 那覇市久茂地 3-21-1 (國場ビル) TEL. 098 (860) 5161 FAX. 092 (263) 1475